



平成 23年8月 26 日
日本鉱物科学会
一般社団法人日本地質学会
国立大学法人茨城大学

日本地質学会第 118 年学術大会・日本鉱物科学会 2011 年年会
合同学術大会(水戸大会)

—いま、地球科学に何ができるか?—

発表形態:

資料配付(8月26日)、現地説明会(8月31日(水)、茨城県庁4F記者室にて、14時~15時)

※説明会へご出席される方は、8月30日(火)17時までに(社)日本地質学会事務局にお申し込み下さい。

発表先:

文部科学省記者会、茨城県県政記者クラブ、科学新聞社

記事解禁日時:**平成 23年 9月 6日**(既にホームページ上で公開されているものは除く)

概要:

1)学術大会のご案内(資料1)

- ・シンポジウム「大規模災害のリスクマネージメント—東北地方太平洋沖地震に学ぶ—」
- ・シンポジウム「太陽系固体惑星地質探査:イトカワから火星・金星まで」ほか

2)特筆すべき学術発表(解禁日時制限あり)

- ・大震災の影で注目されてこなかった、もうひとつの地震災害(資料2)
- ・宇宙空間で作られたダイヤモンドの姿(資料3)

3)表彰

4)関連行事

- ・市民講演会「東日本大震災と地震・津波・原発」(資料4)

都司嘉宣「巨大津波の教訓」

澤井祐紀「地層が語る過去の巨大地震と津波」

石橋克彦「2011年東北地方太平洋沖巨大地震と福島原発震災」

・地質情報展2011みと（資料5）

東日本大震災関連ポスター展示

特別講演会「日本のジオパークー列島の大地に学ぶ」

地学オリンピック:目指せ金メダル!

惑星地球フォトコンテスト入賞作品展示

そのほか最新成果の展示と解説, 体験コーナーなど

・小さな Earth Scientist のつどい 第9回小, 中, 高校生徒「地学研究」発表会

内容:

1) 日本地質学会第 118 年学術大会・日本鉱物科学会 2011 年年会 合同学術大会(水戸大会)合同大会を開催

開催日:2011 年 9 月 9 日(土)～11日(月)

場所:茨城大学水戸キャンパス(水戸市文京 2-1-1)

<http://www.geosociety.jp/mito/content0001.html>

(発表プログラム等を閲覧できます)

学術大会を取材希望の方は, 事前(学会事務局), もしくは当日(会場受付)申し出て下さい.

2) 特筆すべき個人, 団体の学術発表

記事解禁日時:9 月 6 日

(1)大震災の影で注目されてこなかった, もうひとつの地震災害

平成 23 年 4 月 11 日福島県浜通りの地震(M7.0)の際に, 井戸沢断層で地表に最大 2m もの変位を, 湯ノ岳断層で地表に 50cm 強の変位を生じさせていたことを, 小荒井衛会員をはじめとする国土地理院および土木研究所のチームが明らかにしました. マグニチュード 7 クラスで地表変位が 2m もの地震であれば, 1995 年兵庫県南部地震(阪神大震災)や 1999 年台湾中部地震に匹敵するほどの規模ですが, 2011 年太平洋沖地震(東日本大震災)の影に隠れて, あまり注目されてきませんでした. また同時に, 断層近傍の特異な地震動や変位による大規模斜面崩壊が生じていた可能性も見つけられました. 本調査は地球観測衛星「だいち」の合成開口レーダーによる SAR 干渉解析(*1)と地表踏査との綿密な連携プレーによって, 迅速かつ的確に被害場所の特定と規模の把握に成功しました.

(2)宇宙空間で作られたダイヤモンドの姿

ダイヤモンドは、結晶構造は異なりますが鉛筆の芯などに使われる石墨(グラファイト)と同じ炭素原子からできており、地球上では温度と圧力がきわめて高い地下深部で形成されます。これまでに宇宙空間にも炭素原子が存在することはわかっていましたし、地表に落下した隕石からダイヤモンドが見つかった例もありました。その化学的特徴からダイヤモンドが宇宙空間で形成された可能性も指摘されてきました。しかし宇宙空間における隕石形成過程において、ダイヤモンドが、どういった環境で、どのように形成されるのか、その状態を示す証拠はありませんでした。今回、スーダン北部に落下したアルマハタ・シッタ隕石を宮原正明会員をはじめとする東北大学および独国バイロイト大学のグループが詳細に観察した結果、宇宙空間でダイヤモンドが成長してきた詳細な状態を明らかにしました。

3)表彰

一般社団法人日本地質学会では地質学に関する優秀な研究業績を修めた方や地質学の発展・普及による社会貢献の著しい方を顕彰しています。日本鉱物科学会でも、我が国の鉱物科学の進歩と社会的応用に貢献した方々を表彰しています。本年の受賞者は次の方々および団体です。

日本地質学会国際賞： Casey J. Moore (California Univ.)

日本地質学会賞： 岩森 光 (東京工業大学)

日本地質学会学会表彰： 南房総市

平成 22 年度日本鉱物科学会賞第 6 回受賞者受賞： 板谷徹丸(岡山理科大学)

平成 22 年度日本鉱物科学会賞第 7 回受賞者受賞： 杉山和正(東北大学)

ほか

4)関連行事

(1)市民講演会「東日本大震災と地震・津波・原発」

日時： 2011 年 9 月 11 日(日)午後

会場： 茨城大学水戸キャンパス 講堂(水戸市文京 2-1-1)

*アクセスマップ→<http://www.ibaraki.ac.jp/generalinfo/campus/mito/index.html>

後援(全て予定)： 水戸市、各市町村観光協会、茨城産業会議、茨城県地質調査業協会、全国地質調査業協会、NPO 地質情報整備・活用機構、日本地理学会、日本第四紀学会

内容： 2011 年 3 月 11 日に起こった東北地方太平洋沖地震は、莫大な被害をもたらした。津波による膨大な被害に加え、それに伴った原子力発電所の災害は世界に類を見ないものとなった。プレートの沈み込み帯という不安定な地域である日本列島において地震による被害は想定されていたとは言え、今回はその想定を大きく上回った。われ

われが日本列島に住み続ける限り、地震のような自然災害とはずっとつきあっていかなければならない。そのためには、まず自然災害のメカニズムを科学的に理解することが重要である。本講演会は、東北地方太平洋沖地震とそれに伴った津波について講演を行い、一般市民に地震と津波について自然科学的な理解を深めてもらうことを目的とする。

- ・都司嘉宣(東京大学地震研究所):巨大津波の教訓
- ・澤井祐紀(産業技術総合研究所 活断層・地震研究センター):地層が語る過去の巨大地震と津波
- ・石橋克彦(神戸大学名誉教授):2011年東北地方太平洋沖巨大地震と福島原発震災

(2)地質情報展2011みと ー未来に活かそう 大地の鳴動ー

日程: 9月10日(土)ー11日(日)10:00-16:00 入場無料

会場:堀原運動公園 武道館(水戸市新原 2-11-1)

*アクセスマップ→<http://www.ibaraki-sports.or.jp/horihara/09access/index.htm>

主催: 独立行政法人産業技術総合研究所地質調査総合センター・国立大学法人茨城大学・一般社団法人日本地質学会

後援:

茨城県・水戸市・水戸市教育委員会・NHK 水戸放送局・茨城新聞・茨城放送・全国地質調査業協会連合会・茨城県地質調査業協会・毎日放送水戸支局・読売新聞水戸支局・朝日新聞水戸総局

協力:

茨城県石材業協同組合連合会・岩瀬石彫展覽館

内容: 茨城及び周辺の地質をはじめとして、最新の地質学の研究成果を分かりやすく体験的に展示・解説します。小学校入学前のお子様からお年寄りまで、皆さんに楽しみながら「地質」を学んでいただけるイベントです。また、さまざまな体験学習コーナーを用意しており、実験や実演を通じて地質学をわかりやすく学ぶことができます。平成23年東北地方太平洋沖地震の研究に関する展示もおこないます。

- ・ 特別講演会
- ・ 楽しく学ぶ! 体験コーナー
- ・ 見て・聞いて・学ぶ! 展示と解説のコーナー
- ・ そのほか最新成果の展示と解説, 体験コーナーなど

(3) 小さな Earth Scientist のつどい 第9回小, 中, 高校生徒「地学研究」発表会

日時: 2011年9月11日(日)9:00~15:30

場所: 茨城大学水戸キャンパス ポスター会場(水戸市文京 2-1-1)

後援: 茨城県教育委員会(予定)

内容: 地学普及行事の一環として, 地学教育の普及と振興を図ることを目的として, 学校における地学研究を紹介する「地学研究」発表会をおこなっています。水戸大会でも, 小・中・高等学校の地学クラブの活動, および授業の中で児童・生徒が行った研究の発表いたします。研究者も発表するポスター会場内に, 特設コーナーを用意し, 児童・生徒同士のみならず, 研究者との交流もできます。なお優秀な発表に対しては「優秀賞」を授与いたします。

参加予定校(7/19 現在)

茨城県立境高等学校

遺愛女子中学・高等学校

栃木県那須烏山市立下江川中学校

早稲田大学高等学院

兵庫県立加古川東高等学校

香川県立観音寺第一高等学校

私立滝中学校

群馬県立沼田高等学校

水戸葵陵高等学校

5) 連絡先:

(社) 日本地質学会

〒101-0032 東京都千代田区岩本町 2-8-15 (社) 日本地質学会事務局

電話 03-5823-1150 ファックス 03-5823-1156

E-mail main@geosociety.jp

URL <http://www.geosociety.jp>

担当理事: 坂口有人(090-2894-0073)・内藤一樹(029-861-3953)

日本鉱物科学会

〒980-8578

仙台市青葉区荒巻字青葉 6-3 東北大学理学部内 日本鉱物科学会事務局

E-mail: KYL04223@nifty.ne.jp

Tel&FAX:022-224-3852

URL <http://wwwsoc.nii.ac.jp/jams3/index.html>

担当幹事: 柳澤教雄(029-861-2410)